

和歌山県花き振興計画 概要


根拠法：花きの振興に関する法律（第4条）
計画期間：2026～2030年度

目標：収益性の高い魅力ある花き産地の形成

1 本県花き生産の現状
 栽培面積：684ha(2023年)：2018年から51ha(7%)減
 産出額：74億円(2023年)：2018年から3億円(4%)増
 担い手：1,039経営体(2020年)：2015年から333経営体(25%)減
 施設：簡易なパイプハウスが栽培施設の約5割を占める

2 花きの振興に向けた取組方針

- 1) 気候変動への対応**
- ・対策技術の開発及び優良品種の育成
 - ・高温対策資材、機器の導入
 - ・耐風性、耐暑性ハウスの導入
- 2) 収益性の向上**
- ①生産性の向上
- ・スマート農業技術等の導入による高品質、多収化、省力化
- ②施設園芸の省エネ化
- ・省エネ技術、設備の導入
- ③流通対策、消費拡大
- ・新たな購買層の確保と消費PR
 - ・日持ち性が良くかつ効率的な流通
 - ・花育活動の推進
- 3) 担い手の育成・確保**
- ①大規模経営体の育成
- ・地域計画に基づいた農地の集約化
 - ・栽培管理の自動化による省力化
 - ・農繁期における労働力確保
- ②新規就農者の育成、確保
- ・農林大学校等による就農支援
 - ・施設整備への支援

 **1経営体あたりの経営面積の拡大**

3 栽培面積・産出額の目標

	2023 (現状)		2030 (目標)		平均経営面積 (a/経営体)	
	栽培面積 (ha)	産出額 (億円)	栽培面積 (ha)	産出額 (億円)	2020年	2030年
花き全体	684	74	635	76	47.5	46.7
スターチス	71	24	71	25	38.7	43.0
宿根かすみそう	21	7	20	7	15.2	19.9
きく	37	4	27	3	18.8	21.8
ガーベラ	5	3	5	3	46.2	34.6

4 品目別振興方針

- 1) スターチス**
- ・耐風性ハウスの整備
 - ・遮熱資材など高温対策の推進
 - ・換気やかん水の自動化による省力化と生産性向上
- 2) 宿根かすみそう**
- ・耐風性ハウスの整備
 - ・遮熱資材など高温対策の推進
 - ・変温管理等による省エネ化の推進
- 3) スプレイぎく**
- ・県オリジナル品種「紀州サマーリンド」の栽培技術確立と普及
 - ・自動カーテン装置や変温管理等省エネ化の推進
- 4) ガーベラ**
- ・夏季の高温対策として、細霧冷房や自動カーテン装置等の導入
 - ・省エネルギー生産のための自動カーテン等の設備の導入

共通 スマート農業技術の導入による省力化と生産性向上